

小山市事務事業評価シート

平成30年度版

No. 19

1. 基本情報							
＜1＞事業・業務名		地域防犯灯整備事業			＜2＞事業・業務の別		事業
＜3＞選定基準		③ 平成29～30年度総合計画実施計画の計上事業			＜4＞継続評価・新規評価の別		新規評価
＜5＞ 総合計画 基本計画 での体系	大項目	10 みんなの「絆」を大切に安全・安心で健康なくらしづくり			＜6＞担当部(局)		市民生活部
	中項目	10-1 地域で安全に暮らせるまち			＜7＞担当所属		生活安心課
	小項目	10-1-1 交通安全			＜8＞担当係等		交通対策係
	施策	地域防犯灯の整備					
＜9＞根拠法令・計画等					＜10＞関連・類似事業		交通安全施設の整備
＜11＞会計		一般	会計	＜12＞予算科目		2 款 1 項 6 目	
＜13＞実施期間		年度	～	年度	＜14＞全体事業費		千円
＜15＞実施手法		直営			「その他」の場合 ()		

2. Do - 実施 -									
＜16＞事業・業務の概要		自治会・PTA・学校長の連名により寄せられる要望に基づき地域防犯灯を設置する。							
目的	＜17＞事業・業務の目的	通学路における交通事故抑止及び防犯のため設置するもの							
	＜18＞事業・業務の対象	道路を利用する生徒及び児童							
手段	＜19＞平成29年度の活動内容	自治会・PTA・学校長から、地域防犯灯の設置要望に基づき、現地調査を行うとともに設置判断を実施し、工事依頼を行った。							
	＜20＞活動指標 (アウトプット)	指標名	単位	平成28年度		平成29年度			
				計画	実績	計画	実績	達成率(%)	
		地域防犯灯設置数	件	50	49	35	26	74.3%	
成果	＜21＞事業・業務の成果	通学路等に地域防犯灯を設置することにより、生徒・児童が安全に通行できるようになった。							
	＜22＞成果指標 (アウトカム)	指標名	単位	平成28年度		平成29年度			
				計画	実績	計画	実績	達成率(%)	
		防犯灯設置要望達成率	件	49	49	26	26	100.0%	
コスト ～資源の投入量	＜23＞投入指標 (インプット)	区分	単位	平成28年度		平成29年度			
				計画	実績	計画	実績	投入率(%)	
		コスト	千円	5,500	5,235	5,200	2,824	54.3%	
		事業費等	千円	5,500	5,235	5,200	2,824	54.3%	
		財源内訳	国・県補助金	千円					
			地方債	千円					
その他	千円								
一般財源	千円		5,500	5,235	5,200	2,824	54.3%		
人件費	千円	3,607	3,607	3,598	3,598	100.0%			
	正職員	千円 × 人役	7,214 × 0.5	7,214 × 0.5	7,195 × 0.5	7,195 × 0.5			
	他の職員	千円 × 人役	×	×	×	×			

3. Check - 評価 -								
実績評価	妥当性	<24> 目的・対象の妥当性	1.妥当である	理由	部活等により日没後に帰宅する中学生の交通安全、防犯の観点から地域防犯灯を設置しているものであり、要望受理後現地調査、妥当性を勘案し建築課へ工事依頼を行って設置しているため、事業としては妥当である。			
		<25> 手段や実施手法の妥当性	1.妥当である					
	有効性	<26> 成果の向上余地	1.向上の余地なし	理由	要望に対してほぼ100%施工実施していることから、成果は出ている。進め方については精査方法や工事依頼の時期等も的確に行っており、向上の余地はないと考える。			
	効率性	<27> 事業費や人件費の削減余地	1.削減の余地なし	理由	事業もある程度まとめて工事依頼することで、人件費を抑えていると考えており、要望箇所すべてを地域防犯灯で設置するのではなく、交差点等は交通安全灯で設置するなどして事業費を極力抑える努力をしている。			
	公平性	<28> 受益者負担の適正化余地	1.適正	理由	地域防犯灯設置事業は、通学路を通行する生徒・児童が対象であり、市が設置費用電気代等すべてを負担することを前提に行っていることから、受益者(生徒・児童)に負担させる考えには至らない。			
	<29>総合評価	1.改善の余地なし	理由	生徒・児童の安全対策として実施しており、要望から設置までの流れも十分整っており改善する余地はない。費用の負担についても妥当であると考ええる。				
4. Action - 改善 -								
事業の改善	<30> 事業の課題 事業の改善点 今後の進め方等	地域防犯灯は、設置費用や管理、電気代等すべてを市が負担していることから、電気代は年々増加している。このことから新しいエスコ事業を導入したり、電気代のかからない防犯灯を設置する等、今後検討していく必要がある。						
事業の方向性	<31> 1次評価	所属長	3.現状維持	理由	現時点では現状通りにすすめていくことが妥当であると思われるが、現在導入しているエスコ事業が残り5年程度となっており、地域防犯灯事業自体の大きな見直しも必要になるとと思われる。他自治体の運用方法等の調査検討をすすめてほしい。			
	<32> 2次評価	所管部長	3.現状維持	理由	地域防犯灯整備事業は通学路の安全確保から重要であり現状維持が妥当であるが、市の負担が増えていることから地元自治会に電気代の負担を求める等改善を検討する必要がある。			
5 Plan - 計画 -								
事業の計画	<33>実施計画	要望に基づき、小山市全体で20基程度の設置を見込んでいる。		<35>コスト	区分	単位	平成30年度	平成31年度
	<34>活動・成果目標	地域防犯灯を設置することで通学路の安全を確保する。			コスト	千円	7,334	6,600
					事業費等	千円	3,734	3,000
				人件費	千円	3,600	3,600	